

1. 本講義の目的



- | | |
|--|---|
| <p>1. この講義では、「近代憲法史」について、学びます。</p> <p>2. 「憲法」というのは、国家の法、たくさんある法の中でもっとも重要な法だと考えられています。</p> <p>3. というのは、憲法には、人々の権利に関する規定や、政府や裁判所などの国家の組織に関する規定など、とても重要なことがたくさん書いてあるからです。</p> <p>4. 憲法に違反する法律、憲法に「こうしましよ」と書いてあることと違う法律は、つくってはいけない、と考えられています。</p> <p>5. 憲法は、その国が前にどんな国だったか、今はどんな国か、これからどんな国になりたいか、と思っているか、ということと、とても関係があります。</p> <p>6. というのは、たとえば、その国が前に何か失敗をしたとしたら、次は失敗をしないように考えて、考えたことを憲法の中に書くことがあります。</p> | <p>1. In this lecture, I will talk about modern constitutional history.</p> <p>2. Constitution is the most significant law among many laws existing in a nation.</p> <p>3. This means that the Constitution has many significant provisions stipulating human rights, administration and the judiciary.</p> <p>4. Provisions against the Constitution cannot be written into any laws.</p> <p>5. The Constitution reflects the situation of the country in the past and the ideal situation that the country wishes to be in the future.</p> <p>6. For example, if the country made a mistake on some issue, it may state the countermeasure in the Constitution.</p> |
|--|---|

- | | |
|---|--|
| <p>7. それから、その国で今どんな問題が起こっていて、それをどうやって解決しようとしているか、が憲法に書いてあることもあります。</p> <p>8. それを読めば、その国の昔のこと、今のことがわかりますし、これからのことも想像することができます。</p> <p>9. ですから、ある国の憲法を学ぶことは、その国の歴史を知る、その国の今のことを知る、その国のこれからを知る、ということでもあるのです。</p> <p>10. ですので、今日は、みなさんに日本のことを知ってもらうために、日本の憲法のお話をしたいと思います。</p> | <p>7. There is also the case where a country states a problem it has now and how it will deal with it.</p> <p>8. So, from the Constitution, we can imagine the history and recent situation of the country.</p> <p>9. Therefore, studying the Constitution of certain countries is equal to studying the historical background, recent situation and future plan of those countries.</p> <p>10. So, I would like to talk about the Japanese Constitution today so that you will know something of Japan.</p> |
|---|--|

キーワード

- | | | | |
|-------------|----------------|-------------------|------------|
| • 憲法 (けんぽう) | • 憲法史 (けんぽう し) | • 近代憲法 (きんだいけんぽう) | • 権利 (けんり) |
| • 規定 (きてい) | • 政府 (せいふ) | • 裁判所 (さいばんしょ) | |

日本語解説

文1「史」

「～史」という形で、<Nの歴史>という意味を表します。

けんぽう し けんぽう れきし
憲法史 = 憲法の歴史

にほん し にほん れきし
日本史 = 日本の歴史

せかい し せかい れきし
世界史 = 世界の歴史

しゅうきょう し しゅうきょう れきし
宗教史 = 宗教の歴史

文1「ついて」 文3「関する」

「～について」「～についてのN」は会話でも論文や専門の本でも使われます。「研究する」「勉強する」のように、動詞が「漢語＋する」の場合は注意が必要です。

○日本の歴史について研究する。「漢語＋する」

×日本の歴史についてだ。

○日本の歴史についての研究をする。

○日本の歴史についての研究だ。

この講義では次のように使われています。

- ・「国家の中にどんな組織があって、どんな仕事をするのか」ということについては、ずっと昔から憲法で決まっていました。
- ・それに対して、「人々の権利を守る」ということについては、昔の憲法は、ほとんど何も決めていませんでした。
- ・こうして、18世紀頃から、「人々の権利を守る」ということについても、ちゃんと決めた憲法がつくられるようになります。
- ・とにかく、何かの方法で、国家の組織について決めていました。
- ・「国家の組織について決める」ための法律のようなものや、命令はありましたが、欧米諸国にある法律とは大きく違うものでした。

「～に関して～」 「～に関する N」は「～について」「～についての N」とほとんど同じ意味を表します。しかし、「～に関して～」 「～に関する N」のほうが論文や専門の本などではよく使われ、個人的、日常的なことにはあまり使われません。

この講義では次のように使われています。

- ・憲法には、人々の権利に関する規定や、政府や裁判所などの国家の組織に関する規定など、とても重要なことがたくさん書いてあるからです。
- ・いくつかあるのですが、たとえば、軍隊に関することや、戦争に関することです。

☞「講義に役立つ日本語」

文9「ですから」 文10「ですので」

「A.ですから、B」、「A.ですので、B」は、Aで理由を表し、Bで結果を表す接続詞です。くだけたカジュアルな話し言葉では「だから」が使われます。また、「ですから」よりも「ですので」のほうが話し言葉的です。この講義では次のように使われています。

- ・その国が前に何か失敗をしたとしたら、次は失敗をしないように考えて、考えたことを憲法の中に書くことがあります。ですから、ある国の憲法を学ぶということは、その国の歴史を知る、その国の今のことを知る、その国のこれからを知る、ということでもあるのです。ですので、今日は、みなさんに日本のことを知ってもらうために、日本の憲法のお話をしたいと思います。
- ・それに対して、「人々の権利を守る」ということについては、昔の憲法は、ほとんど何も決めていませんでした。ですので、国家の組織について決めるときにも、人々の権利を守るために国家がしなければならないこと、してはならないこと、についても、あまり決めていませんでした。

きんだいけんぽう 2. 近代憲法とは

2. 近代憲法とは？

- 近代(18c〜)に生まれた
 - ex. アメリカ憲法(1788)、フランス憲法(1791)
 - 憲法が決めていることは？
 - (1)「人々の権利を守ること」。
 - (2)「国家の組織について決めること」。
 - (≡権力を分けること)。
- 「人および市民の権利宣言」(Déclaration des Droits de l'Homme et du Citoyen)第16条

1. その前に、「近代憲法」とは何か、という説明をしておきましょう。先ほど、私は、「憲法には、とても重要なことがたくさん書いてある」と言いました。
 2. どんなことかと言うと、人々の権利を守る、ということや、国家の組織について、どんな組織があつて、どんな仕事をするのか、ということが書いてあるのです。ですが、こういったことが、ずっと昔から憲法に書いてあったわけではありません。
 3. 憲法に書かれるようになったのは、「近代」と呼ばれる時代、18世紀よりも後の時代のことです。
 4. 「国家の中にどんな組織があつて、どんな仕事をするのか」ということについては、ずっと昔から憲法で決まっていました。「こういう仕事は、国王がします」とか、「裁判所は、この仕事をしてください」とか、ということは、「憲法」という名前ではなかったかもしれませんが、どの国でも決まっていた。
1. As I mentioned above, the Constitution has many significant provisions.
 2. In detail, we have provisions stipulating the protection of human rights, the mechanisms of national organizations, and so on.
 3. The time these provisions were written was in the 19th century onward, in other words, in the modern period.
 4. The mechanisms of national organizations have their roots in more ancient times, and had been decided in several ways.

5. どうやって決まっていたかと言うと、たとえば慣習です。「慣習」というのは、「こうしなさい」ということが法律などに書かれてあるわけではないのですが、みんなずっとそうしてきたし、これからもそうすることがいいと思っている、というもの、書かれていないルールです。
 6. それから、国王や大臣など偉い人の命令で決まっていたこともあります。あるいは、法律で決まっていたこともあったかもしれません。とにかく、何かの方法で、国家の組織について決めていました。
 7. そうしないと、誰がどの仕事をしたらいいかわからないので、1つの国家としてうまくやっていくことができないからです。
 8. ですから、国家の組織について決めている憲法は、その頃「憲法」と呼ばれていたかどうかはわかりませんが、ずっと昔からあった、と考えられています。
 9. それに対して、「人々の権利を守る」ということについては、昔の憲法は、ほとんど何も決めていませんでした。
 10. ですので、国家の組織について決めるときにも、人々の権利を守るために国家がしなければならないこと、してはならないこと、についても、あまり決めていませんでした。
 11. 決めていたとしても、今の憲法のようにたくさんの方の権利について書いてあるのではなく、少しの権利についてしか決めていなかったり、全部の人ではなく一部の貴族の権利についてしか決めていなかったりしました。
5. One way took into account the customs of the people, where customs are unwritten rules from the past that everybody follows and thinks should be continued.
 6. A second way took into account the hierarchy of empowered persons, where the hierarchy might be stipulated in law.
 7. Which ever of these ways a country used to decide on the mechanisms of its national organizations, this enabled everyone to understand the roles of the different actors involved.
 8. Therefore, it is thought that the Constitution, which decided the mechanisms, must have long been in existence.
 9. In terms of human rights, on the other hand, previous versions of the Constitution rarely stipulated them.
 10. There were no provisions stating the roles of national organizations in the protection of human rights, and there were not enough articles protecting human rights compared to the present day.
 11. For example, the Constitution protected only some people, such as aristocrats.

12. しかし、それでは人々は困ってしまいますから、「この権利を守ってほしい」「あの権利も守ってほしい」と要求する、強くお願いするようになります。それが18世紀頃のことです。
13. こうして、18世紀頃から、「人々の権利を守る」ということについても、ちゃんと決めた憲法がつくられるようになります。
14. たとえば、アメリカでは、1788年に憲法ができました。フランスでは、1791年です。このような新しい憲法は、国家の組織について決めるだけではなく、人々の権利を守ることも決めていることが多いです。
15. 1789年に、フランスで、デクララسیون・デ・ドロワ・ドウ・ロンム・エ・デュ・シトワイヤン（Déclaration des Droits de l'Homme et du Citoyen）がつけられました。日本語では「人および市民の権利宣言」とか、もう少し簡単に「フランス人権宣言」と言います。
16. この宣言の第16条には、「権利が守られるかどうか分からない社会、権力が分けられていない社会は、憲法を持っていない」と書いてあります。
17. つまり、憲法には、2つの仕事があって、1つは、「人々の権利を守る」ということ、もう1つは、「権力を分けること」、国王など1人の人が全部の権力を持っているのではなくて、権力をいくつかに分けて、それぞれ別の人に持たせて、お互いにチェックさせることです。
18. この2つの仕事をしないのであれば、それは憲法ではない、ということです。
19. このような考え方でつくられた憲法のことを、「近代憲法」と言います。
12. Obviously the people suffered under such a Constitution and around the 18th century, they began to stand up for their rights.
13. It was at this time that countries started to prepare Constitutions which contained sufficient provisions for human rights.
14. Such Constitutions were enacted in the United States in 1788 and in France in 1791.
15. In 1789, the Declaration of the Rights of Man and of the Citizen, or the Déclaration des Droits de l'Homme et du Citoyen in the original French, was adopted.
16. The Constitution has two functions: protecting human rights and separating power.
17. Separation of power means to separate the authority of several actors and confers them with powers to keep check on each other.
18. The Constitution can not be approved without these two functions.
19. A Constitution with such an ideology is called a modern Constitution.

20. 憲法はずっと昔からあったのですが、その中でも新しい憲法、近代になってからできた憲法、ということです。
21. では、日本では、近代憲法ができたのは何年でしょうか。
22. 実は、アメリカやフランスなどよりもかなり遅くなってから、1889年でした。ですから、100年くらい遅い、ということになります。
23. そして、それから50年と少し後の1946年に、憲法を改正しました。つまり、憲法を変えた、直しました。
24. 変えたといっても、新しい憲法をつくったのと同じくらい、ほとんど全部変えてしまいました。
25. 「どうして、憲法をつくるのがアメリカやフランスなどよりも遅かったのでしょうか」「どんな憲法だったのでしょうか」。
26. このことを、次にお話しします。その後で、「どうして、1946年に改正したのでしょうか」「どこを改正したのでしょうか」ということをお話しします。
20. Among the various forms of Constitution, the modern Constitution is the newest form.
21. So, when was the Japanese modern Constitution established?
22. It was in 1889, about 100 years later than in the United States.
23. In 1946, Japan amended its Constitution.
24. I used the word "amended", but actually it is better to say "changed".
25. So, what is the background to Japan's present day Constitution?
26. I would like to talk about this next.

キーワード

・慣習

・命令

・人および市民の権利宣言(フランス人権宣言)

日本語解説

文2「～わけではありません」

その前に述べられた内容から想像される結果を否定するときに使われます。「～が」、「ですが」、「だからといって」など前に言ったこと、書いたことを否定する接続詞と一緒によく使われます。この講義では次のように使われています。

- 「憲法には、とても重要なことがたくさん書いてある」と言いました。……、ですが、こういったことが、ずっと昔から憲法に書いてあったわけではありません。
- さて、最高裁判所には、長官1人と裁判官14人、合わせて15人がいるわけですが、いつも15人で裁判をするわけではありません。

- ・ こうした方法によって、外国の法を継受したのですが、どこかある一つの国の法を真似した、フランス語やドイツ語で書かれた法律を日本語に直してそのまま法律にしたわけではありませ
ん。

文3「近代」

日本の歴史は大きく古代、中世、近世、近代、現代の5つの時代に分けられます。このうち、江戸時代から明治時代が始まるまでを近世と呼び、明治維新から第二次大戦終結までを、近代と呼びます。現代というのは、普通、戦後から今までを意味します。

文11「貴～」

「貴」という漢字は、「①身分が高い」や「②尊敬する」という意味を表します。①の使い方としては文11の「貴族」「貴婦人」などの使い方があります。また②の使い方としては、手紙を書くときや話すときに相手方に関する語の前につけて、相手への敬意を表します。

貴社＝あなたの会社

貴校＝あなたの学校

貴国＝あなたの国

文11・17 連用中止

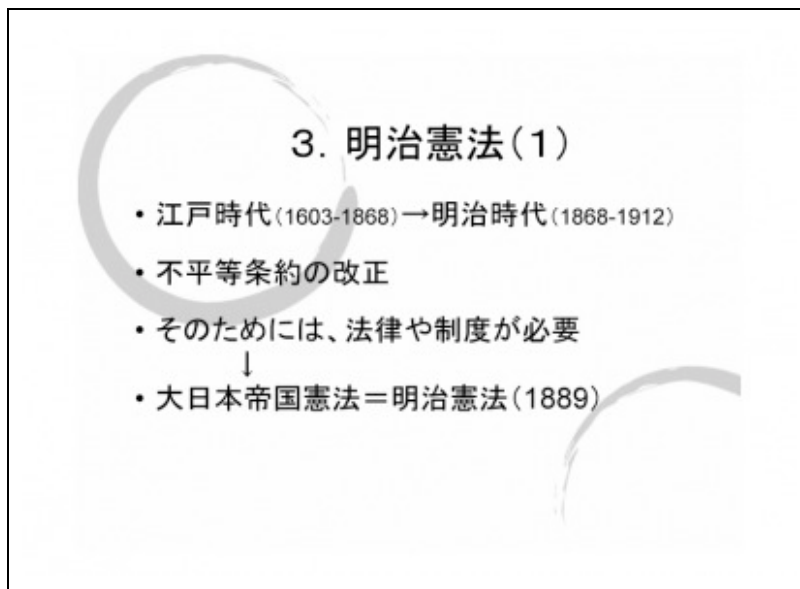
二つの文をつなぐとき、「て形」と「連用中止」を使うことがあります。「連用中止」は主に書くときや講義のとき、ニュースなど改まった場面で使われます。ただ、かならず一つを使わなければならないということではありません。両方使うこともよくあります。この講義でも文11では「連用中止」が、文17では「て形」が使われています。

- ・ 文11 決めていたとしても、今の憲法のようにたくさんの権利について書いてあるのではなく、少しの権利についてしか決めていなかったり……。
- ・ 文17 2つの仕事があつて、1つは、「人々の権利を守る」ということ、もう1つは、「権力を分けること」、国王など1人の人が全部の権力を持っているのではなくて、権力をいくつかに分けて、それぞれ別の人に持たせて、お互いにチェックさせること。

👉「講義に役立つ日本語」

めいじけんぽう 3. 明治憲法(1)

めいじけんぽう 明治憲法ができるまで



1. それでは、1889年の憲法の話をしてください。この憲法は、「大日本帝国憲法」というのが正しい名前なのですが、よく「明治憲法」とも言われます。今日の講義では、「明治憲法」と言うことにします。
1. The formal name of the Constitution first enacted in 1889 is the Constitution of the Empire of Japan, but it is often referred to as the Meiji Constitution.
2. 明治憲法が作られた 1889年頃は、どんな時代だったのでしょうか。その少し前の時代から説明すると、1603年から 1868年までを「江戸時代」と言います。
2. Meiji is a name of period starting from 1868. Let's review the historical background of Meiji Constitution.
3. 「江戸」というのは、東京の昔の名前です。江戸に政府があったので、「江戸時代」と言います。
3. The Meiji period succeeded the Edo period, which was named as such because the government was seated in Edo, the archaic name for Tokyo.
4. この江戸時代には、「国家の組織について決める」ための憲法、憲法という名前ではありませんでしたが、法律のようなものや、命令がありました。
4. In the Edo period, which ran from 1603 to 1868, there were laws or orders rather than a Constitution to decide national organizations.
5. ですが、「人々の権利を守る」ための憲法、近代憲法は、ありませんでした。
5. However, there were no regulations protecting human rights.

6. 日本は、江戸時代には、「外国と交流しない」という政策をとっていました。中国やオランダなどの一部の国とは仲良くしましたが、それ以外の国とは交流しなかったのです。
7. ですが、江戸時代の終わりに、アメリカをはじめとするヨーロッパの大きな国々、「欧米諸国」と言いますが、欧米諸国が次々と日本にやってきて、日本に「交流しましょう」と言いました。日本は、「交流しないと戦争になるかもしれない」「戦争になったら、負けてしまう」と思ったので、欧米諸国と交流することにしました。国と国との約束、条約を結んだのです。
8. その後、日本の中で、戦争が起こり、新しい政府ができました。1868年のことです。1868年より後の時代を「明治時代」と言います。
9. 1889年の憲法を「明治憲法」とも言う、と言いましたが、それは、明治時代にできた憲法だからです。
10. こうして、1868年に新しい政府ができたのですが、新しい政府には、やらなければならないことがありました。それは、前の政府が欧米諸国と結んだ条約を改正する、変える、直す、という仕事です。というのは、その条約は、欧米諸国に有利で日本に不利な条約、不平等な条約だったからです。
11. たとえば、外国から物を買うときに、税金をかけることがあります。日本はこの税金をいくりにするか、自分で決めることができませんでした。必ず外国と相談しなければならなかったのです。
12. それから、外国人が日本で悪いことをしたとしても、日本人が裁判することができませんでした。その外国人と同じ国の人が裁判することになっていたのです。
6. During the Edo period, Japan adopted a policy of isolation, interacting only with China and Holland.
7. Toward the end of this period, Western countries had demanded that Japan interact, and Japan decided to accept treaties to avoid wars.
8. In 1868 at the end of a civil war, Japan created a new government and a new period dawned, the Meiji period.
9. The Meiji Constitution was enacted during this time.
10. The important task for new government was to amend and change the unfair treaties that had been adopted before, which were only of benefit to the Western countries.
11. For example, Japan could not decide the amount of tariff (the tax added to product prices when Japan import goods) without consultation with foreign countries.
12. As well, even if foreigners committed crimes in Japan, Japan could not legally try them through its judicial system; only persons of the same nationality as the criminals could adjudicate.

13. そこで、日本の新しい政府は、欧米諸国に、
「条約を改正しましょう」と言いましたが、
欧米諸国はなかなか賛成しませんでした。
14. 欧米諸国は、日本をとて遅れた国だ、発展し
ていない国だ、と考えていたからです。
15. 特に、日本には、欧米諸国のような法律や制度
がありませんでした。「国家の組織について決
める」ための法律のようなものや、命令はあ
りましたが、欧米諸国にある法律とは大きく
違うものでした。
16. 「また、人々の権利を守る」ための憲法や法律
は、あまりありませんでした。欧米諸国は、
これは問題だ、と考えていました。条約を
改正するためには、欧米諸国のような法律や
制度をちゃんとつくる必要でした。
17. そこで、日本の政府は、欧米諸国のような法律
や制度をつくることにしました。
18. そして、19世紀の最後から20世紀の最初まで、
たくさんの法律をつくりました。
19. その中で、1889年に、明治憲法をつくりまし
た。
13. In light of this situation, the new Japanese
government requested amendments to the
treaties; however, the requests were not
viewed favorably.
14. This was because they thought that Japan was
an undeveloped country, especially with
regard to laws and institutions.
15. In fact, Japan did have some system to decide
national affairs (similar to laws and orders),
but it was totally different from that of
Western countries.
16. Also, there were not many provisions and
articles protecting human rights.
17. In order to deal with Western countries, Japan
needed to have a Constitution.
18. The Japanese government therefore created
laws and institutions throughout the 19th and
20th centuries.
19. It was as part of this process that the Meiji
Constitution was established in 1889.

キーワード

・大日本帝国憲法(明治憲法)

・条約

・裁判する

・制度

日本語解説

文2「江戸時代」

時代の分け方はいろいろあります。どこに政府があったかで時代を分ける方法もあります。1603年から1868年まで江戸(今の東京)に政府があった形を江戸時代と呼びます。それ以外にも次のような呼び方があります。

平安時代=794年から1192年までの平安(今の京都)に政府があった時代

鎌倉時代=1192年から1333年まで鎌倉に政府があった時代

むろまち じだい ねん ねん むろまち いま きょうと せいふ じだい
室町時代=1336年から 1573年まで室町(今の京都)に政府があった時代

文5「～ためのN」「～ために～」

「V+ために～」は意志を表わす言葉といっしょに使われ、目的を表わします。後ろに名詞が来る場合には、「～ための+N」という形になります。一方、「V+ように～」は、期待される結果や希望を表すときに使われます。「～ように」の前には、意志と関わりのない動詞（可能形や否定形が多い）が来ます。

○病気が治るように薬を飲みます。

×病気が治るために薬を飲みます。

○新しい車を買うために貯金しています。

×新しい車を買うように貯金しています。

この講義では次のように使われています。

- ・ 人々の権利を守るために国家がしなければならないこと、してはならないこと、についても、あまり決めていませんでした。
- ・ 今日は、みなさんに日本のことを知ってもらうために、日本の憲法のお話をしたいと思います。
- ・ 条約を改正するためには、欧米諸国のような法律や制度をちゃんとつくることが必要でした。
- ・ 近代憲法は、「人々の権利を守る」ための憲法だと言いました。
- ・ この江戸時代には、「国家の組織について決める」ための憲法、憲法という名前ではありませんでしたが、法律のようなものや、命令はありました。
- ・ たとえば、ある人が他の人と契約、つまり法律的な約束をするためのルールや、ある人が結婚または離婚するときに守らなければならないルールが、民法の中に書いてあります。

文7「欧米諸国」

「欧」という漢字は「欧州」、ヨーロッパを意味します。米は「米国」、アメリカ合衆国です。その他にも漢字を使って地域を次のように表します。

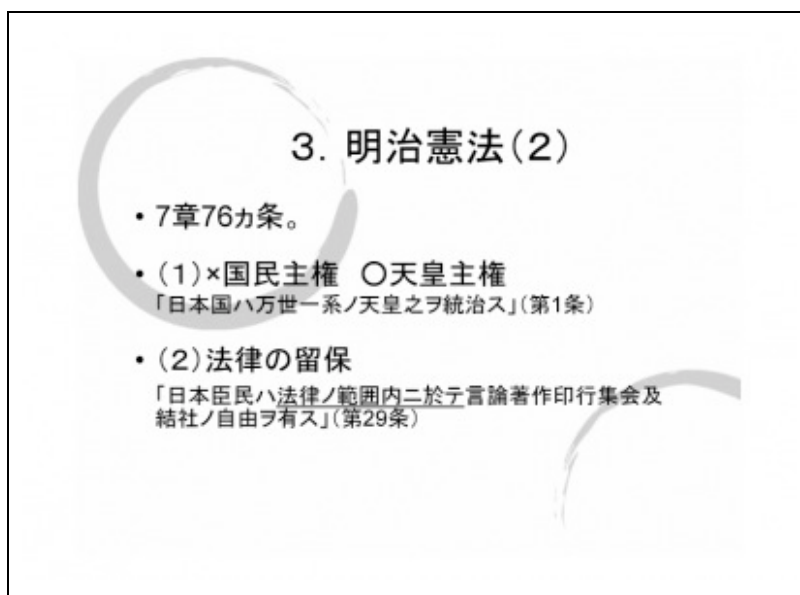
亜＝「亜細亜」＝アジア

豪＝「豪州」＝オーストラリア

露＝「露西亜」ロシア

めいじけんぽう 3. 明治憲法(2)

めいじけんぽう ないよう 明治憲法の内容



- | | |
|--|---|
| 1. では、明治憲法は、どんな憲法だったのでしょうか。 | 1. So what was the Meiji Constitution about? |
| 2. 明治憲法には、7章76カ条の条文があります。今日は、それぞれの条文について、詳しく説明する時間がないので、特徴的なこと、今の憲法と大きく違うところだけを話します。 | 2. It had 7 chapters and 76 provisions, but I am going to talk about the characteristics and main differences from the present Constitution since we do not have time to go through it all. |
| 3. 明治憲法の特徴は、次の2点です。 | 3. The main characteristics of Meiji Constitution can be summarized by the following two points. |
| 4. 第一に、主権の問題です。「主権」という言葉には、いろいろな意味があるのですが、ここでは、「政治について決める力、国家の大事なことに決める力」という意味です。 | 4. The first point is sovereign authority, meaning the authority to decide national significant issues such as politics in this context. |
| 5. 今は、多くの国では、国民が政治について決めています。 | 5. In recent times, the nation decides the politics in many countries. |
| 6. たとえば、ある法律について賛成か反対かを投票したり、選挙で代表者を選んだりして、決めています。 | 6. For example, the nation can reflect its intention for a certain law through a referendum or can elect representatives to decide the direction of politics |

7. つまり、国民が主権を持っているので、「国民主権」と言います。 7. As you see, nations have sovereign authority nowadays, which is called popular sovereignty.
8. ところが、明治憲法は、国民主権の憲法ではありませんでした。 8. The Meiji Constitution, on the other hand, did not provide authority to the nation.
9. 国民は、政治について決めることができなかったか、できたとしても、国民が決めたことを他の人が変えてしまうことができませんでした。 9. The nation could not decide much about politics.
10. では、誰が政治について決めていたのか、というと、天皇でした。 10. Even if it could contribute a little, the Emperor could revise it.
11. 明治憲法の第1条には、「大日本帝国ハ万世一系ノ天皇之ヲ統治ス」と書いてあります。古い日本語なので、難しいのですが、天皇が日本を統治する、支配する、政治を行う、という意味です。 11. Article 1 of the Meiji Constitution stated that the Emperor governed, was responsible for and conducted the affairs of state.
12. ですので、明治憲法は、「天皇主権」の憲法でした。 12. In this way the Meiji Constitution was protecting the sovereignty of the Emperor.
13. 明治憲法には、国会についても書いてありましたが、大臣たちについても書いてありました。 13. The Meiji Constitution prepared provisions on the Diet and bureaucrats.
14. しかし、国会は「協賛」する、大臣は「輔弼」する、つまり、協力する、手伝う、という仕事をしていました。 14. According to the provisions, the Emperor made decisions with the cooperation of the Diet and assistance from bureaucrats.
15. 憲法では、天皇が、国会や大臣たちに手伝ってもらって、決める、ということになっていたのです。もちろん、実際には、天皇が全部のことを決めるのは大変ですから、国会や、大臣たちや、裁判所などにいろいろな仕事をさせて、決めさせていました。 15. In practice, the Emperor instructed the Diet, bureaucrats and the courts to do various kinds of jobs.
16. 近代憲法について説明するときに、憲法の仕事の1つは、「権力を分けること」だと言いました。 16. As I mentioned above, one of functions of the Constitution is to separate power.

17. 明治憲法は、確かに、国会や、大臣たちや、
裁判所の仕事について決めていますので、
権力を分けています。ですが、権力をいく
つかに分けた上で、お互いにチェックさせ
る、ということは、不十分でした。また、大事
なことを決めるときに、国会や大臣たちが
決めることができないことがありました。
18. いくつかあるのですが、たとえば、軍隊に関
することや、戦争に関することです。
19. 軍隊に関することや、戦争に関することは、
軍隊が手伝って、天皇が決めることになっ
ていました。実際には、軍隊に仕事をさせ
て、決めさせていた、ということです。
20. このことは、1930年代より後になって、大き
な問題を起こしました。というのは、軍隊の
力がだんだん強くなってしまい、政府の言
うことを聞かなくなってしまったのです。
21. 第二に、権利の問題です。
22. 近代憲法は、「人々の権利を守る」ための
憲法だと言いました。明治憲法も、たくさ
んの権利を守るように書いていました。
23. ですが、その権利には、「法律の留保」と
いうものがつけられていました。「法律の
留保」とは、法律によって、権利の全部ま
たは一部を、「守らなくてもいい」と決め
てしまうことです。
24. たとえば、明治憲法の第29条には、「日本
臣民ハ法律ノ範囲内ニ於テ言論著作印行
集会及結社ノ自由ヲ有ス」と書いてありま
す。簡単に言うと、自分の意見を人々に話し
たり、本を書いて売ったり、同じ考えの人
たちが集まったりすることは、「法律の
範囲内」で自由ですよ、ということです。
25. この、「法律の範囲内」で、という部分が問題
です。
17. The Meiji Constitution of course distinguished
the roles of the Diet, bureaucrats and the courts,
but it was difficult to make the actors keep check
on each other.
18. There were some issues around the fact that the
Diet and bureaucrats could not make decisions,
such as the cases relating to the military and war.
19. Formally, such issues should have been decided
by the Emperor, but in actuality the Emperor
made the military decide.
20. As a result, the military strengthened in the late
1930s and did not listen to the government at all.
21. The second point concerns the issue of rights.
22. A modern constitution is designed to protect
human rights.
23. This is called "horitsu-no-ryuho" (a reservation of
law) in Japanese.
24. For example, Article 29 of the Meiji Constitution
stated that Japanese are allowed to speak freely,
write and sell books, and gather together with
people of like mind and engage in discussions
within the purview of the stipulated law.
25. Within the purview of the stipulated law is the
issue here.

26. というのは、法律が厳しくなければ、いろいろなことが自由にできるのですが、法律が厳しければ、いろいろなことができなくなってしまいますからです。
27. 実際に、1920年代から、法律が厳しくなり、憲法に書かれていた人々の権利は、あまり守られなくなっていました。
28. このように、明治憲法は、日本で最初の近代憲法だったのですが、今お話ししたような点で、今から考えると「問題だ」と思えることも書いてありました。
29. 「人々の権利を守る」のが近代憲法でしたが、明治憲法では、「人々の権利を守る」ことができない部分があったのです。それから、「権力を分ける」ことはしましたが、分けた権力がお互いをチェックする、ということは、あまり考えていませんでした。
30. ただし、明治憲法でも、うまく使えば、「人々の権利を守る」ことはできました。
31. うまく使う、というのは、たとえば、軍隊が自分の仕事だけをして、政府の仕事に口を出さない、とか、憲法に書いてある権利については、法律をあまり厳しくしない、とか、ということです。
32. 実際に、そういう時代もあったのです。1910年代のことです。しかし、1920年代からは、法律が厳しくなったり、軍隊が政府の仕事に口を出すようになってたりしました。明治憲法を、うまく使えなくなってしまったのです。
33. そして、日本は、1931年から中国と戦争を始め、1941年からはアメリカなどの欧米諸国とも戦争をしました。
26. It means that if a provision was changed or amended to limit human rights, the freedom of the people could be limited legally.
27. In fact, the rights as stipulated in the Constitution were not guaranteed from 1920s because the provisions limited the protection of human rights.
28. The Meiji Constitution was Japan's first Constitution, and it had some problems.
29. It dealt with the separation of authority, but it did not succeed in establishing a system of check between the actors.
30. However, it was possible to protect human rights if people applied the Meiji Constitution correctly.
31. Correctly here means that the all of the actors, especially the military, stayed independent and did not limit the human rights stated in the Constitution.
32. In 1910s, the Constitution functioned well, but in the 1920s the military butted into government roles and government could not control the military.
33. As a result, Japan entered into war with China in 1931 and with Western countries in 1941.

34. いろいろな国と戦争をし、1945年に負けた。戦争が終わった後、日本は明治憲法を改正することになりました。
34. It was after Japan was defeated in 1945 that the Meiji Constitution was amended.

キーワード

- | | | | | |
|-----|-----|-------|-----|-------|
| ・投票 | ・選挙 | ・国民主権 | ・天皇 | ・天皇主権 |
| ・国会 | ・自由 | | | |

日本語解説

文2「章」「条」

「章」という漢字は、chapter という意味を表します。法律や規則の場合には、「章」の下に「条」が作られます。また、論文などでは「章」の下に「節」が作られます。

文4「第一に」 文21「第二に」

「第一に」、「第二に」、「第三に」…「最後に」という表現は、いくつかのポイントを整理して説明するときに使います。この講義では、二つの点を説明するために、次のように使っています。

明治憲法の特徴は、次の2点です。

第一に、主権の問題です。……。第二に、権利の問題です。……

👉「講義に役立つ日本語」

文8「ところが」

「A.ところがB」という形で、Bの内容がAから予想されるものとは全く違うときに使います。意外だ、という気持ちが含まれます。似た表現として「だが」「しかし」「けれども」などがあります。

「だが」「しかし」「けれども」も「ところが」と同じように、Bの内容がAの内容から予想されるものとは違うときに使います。「だが」が一番改まった表現で書くときによく使います。「しかし」は書くときも話すときも書くときにもどちらでも使います。「けれども」は話し言葉です。講義の中では使いますが、論文などでは使いません。

文11 法律の表記方法

現在、皆さんが読んでいる日本語の文章は、普通漢字とひらがなで書かれています。外来語など特別な場合だけ、カタカナで書きます。しかし、昭和21年(1946年)まで、日本語で法律や新聞、教科書など正式な文書では「大日本帝国八万世一系ノ天皇之ヲ統治ス」のように漢字とカタカナで書かれていました。法律や古い日本語の資料を読むときには、漢字とカタカナで書かれています。それが正式な書き方です。

文 30 「ただし」

「A. ただし、B」という形^{かたち}で、Aで話^{はな}したことについて、条件^{じょうけん}や例外^{れいがい}を述べるときに使^{つか}います。この講義^{こうぎ}では、次^{つぎ}のように使^{つか}っています。

- ・それから、「権力^{けんりょく}を分ける^わ」ことはしましたが、分けた権力^{けんりょく}がお互^{たが}いをチェックする、ということは、あまり考^{かんが}えていませんでした。ただし、明治憲法^{めいじけんぽう}でも、うまく使^{つか}えば、「人々^{ひとびと}の権利^{けんり}を守る^{まも}」ことはできました。
- ・最高裁判所^{さいこうさいばんしょ}の仕事^{しごと}は、1 つには、下級裁判所^{かきゅうさいばんしょ}の判決^{はんけつ}に対する上告^{たい}を受け、裁判^{さいばん}を行^{おこな}うことです。ただし、最高裁判所^{さいこうさいばんしょ}に上告^{じょうこく}することができる理由^{りゆう}は、下級裁判所^{かきゅうさいばんしょ}の判決^{はんけつ}が判例^{はんれい}と異なる判決^{ことはんけつ}であること、など、いくつかの理由^{りゆう}に限定^{げんてい}されています。
- ・コモン・ローは、権利^{けんり}を守る^{まも}、保障^{ほしょう}するためにつくられた、というのは、こういった歴史^{れきし}からわかると思います。ただし、当時^{とうじ}守られていた権利^{けんり}というのは、あくまでも貴族^{きぞく}たちや地方^{ちほう}の有力者^{ゆうりょくしゃ}のような、上流階級^{じょうりゅうかいきゅう}の人々^{ひとびと}、身分^{みぶん}の高い人々^{たかひとびと}の権利^{けんり}が中心^{ちゅうしん}であった、ということです。

文 32 「口を出す」

「口^{くち}を出す^だ」というのは、「干渉^{かんしやう}する」「指図^{さしず}をする」のような意味^いを表^{あらわ}します。このように「口^{くち}」には「言葉^{ことば}」や「話^{はなし}」という意味^いもあります。次^{つぎ}のような使^{つか}い方^{かた}があります。

口^{くち}にする^{はな}＝話^{はな}す

口^{くち}が重^{おも}い＝あまり話^{はな}さない

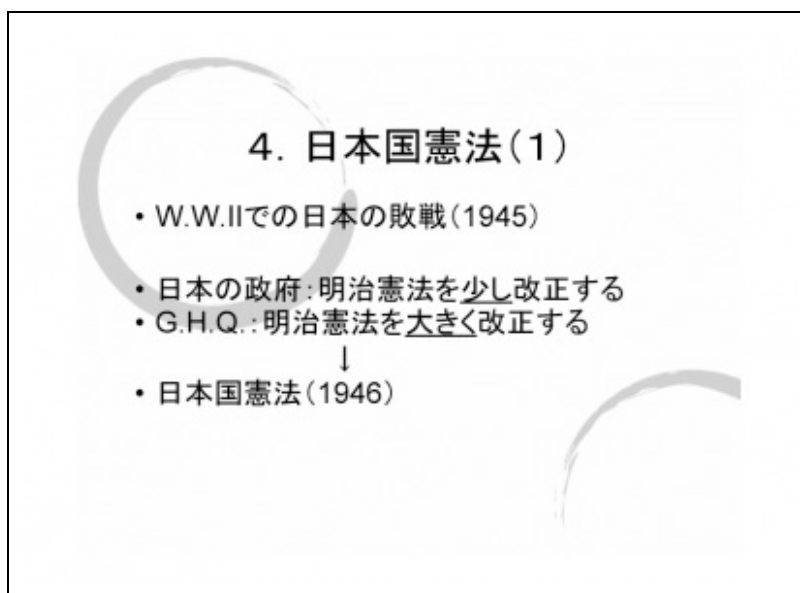
口^{くち}が軽^{かる}い＝何でもすぐ^{なん}に話^{はな}してしまう ⇔ 口^{くち}が堅^{かた}い

口^{くち}から先^{さき}に生^うまれたような人^{ひと}＝よくしゃべる人^{ひと}を形容^{けいよう}することば

口^{くち}が悪^{わる}い＝ことば^{ことば}の使^{つか}い方^{かた}がよくない

にほんこくけんぽう 4. 日本国憲法（１）

にほんこくけんぽう 日本国憲法ができるまで



- | | |
|--|---|
| 1. にほんこくけんぽう
日本国憲法ができるまで | 1. Historical background of the Japanese Constitution |
| 2. 1945 ^{ねん} に、日本は戦争 ^{せんそう} に負けました。そして、日本に勝ったいくつかの国 ^{くに} 、アライズ (Allies) とかユナイテッド・ネーションズ (United Nations) とか言われる国 ^{くに} が、日本を占領 ^{せんりょう} しました。 | 2. Following Japan's defeat in 1945, the Allies and the United Nations, composed of members from several of the winning countries, dominated Japan. |
| 3. 日本にいたユナイテッド・ネーションズのいちばん重要な機関 ^{きかん} 、大事なことを決める機関は、ジェネラル・ヘッド・クォーターズ (General Head Quarters) という機関です。よく、ジー・エー・キュー (GHQ) と呼びます。 | 3. The most significant United Nations organization established in Japan was General Head Quarters, known as GHQ. |
| 4. そこで働 ^{はたら} いていた人たちは、多くはアメリカ人 ^{じん} です。 | 4. Most people working there were American. |
| 5. このGHQは、日本を民主主義 ^{みんしゅしゅぎ} の国 ^{くに} にしようとして、いろいろな改革 ^{かいかく} を行いました。 | 5. GHQ drastically revolutionized Japan, making it a democratic country. |
| 6. 憲法 ^{けんぽう} についても、そうです。 | 6. Constitutional amendment was one of issues addressed. |

7. GHQ は、最初は、日本人に憲法を改正させるつもりでした。なので、日本の政府に、憲法を改正する仕事をさせました。
日本の政府は、明治憲法を少しだけ直して、使うつもりでした。先ほども言いましたように、明治憲法でも、うまく使えば、「人々の権利を守る」ことはできました。日本の政府は、うまく使わなかったのがいけないのだ、うまく使えば大丈夫だ、と考えたのです。
8. ところが、GHQ は、そうは考えませんでした。日本を民主主義の国にするためには、明治憲法を少し直すだけでは十分ではない、明治憲法を大きく変えなければならない、と考えていたのです。
9. ですので、日本政府がつくった案を拒否して、GHQ がつくった案を日本政府に渡しました。
10. 日本政府は、たいへん驚き、反対しました。ですが、結局、GHQ がつくった案をもとに、日本政府と GHQ が話し合っ、新しい案をつくることになりました。そして、その案を国会に渡して、国会の議員たちに話し合わせました。
11. 国会は、3ヵ月以上話し合っ、この案を可決、賛成しました。こうして、1946年に日本国憲法がつくれ、1947年から使われることになりました。
7. GHQ asked the Japanese government to amend the Constitution, but the government felt that the Meiji Constitution should remain in place because, as I mentioned above, it could protect human rights.
8. GHQ disagreed, feeling that slight or no amendment of the Meiji Constitution was not enough to transform Japan into a democratic nation.
9. GHQ therefore provided its own plan to Japanese government.
10. The Japanese government was shocked by this move and opposed it; however, GHQ and the Japanese government discussed a new draft based on GHQ's proposal and they then submitted it to the Diet and National Assembly for discussion.
11. After more than three months of discussion, the Japanese Constitution was adopted in 1946 and enforced in 1947.

キーワード

- ・民主主義 ・国会(の)議員 ・日本国憲法

日本語解説

文5「～しようとして」

「～しようとして」は次の二つの意味を表します。

① 試み

動詞を受けて、その動詞が表す動作や行為を実現しようと努力したり試みたりすることを表します。
文5の使い方はこちらの意味になります。その他、講義では次のように使われています。

- ・国王は、貴族たちとの関係が良い関係であるようにしようとしたのです。
- ・ローマ法は、12世紀のヨーロッパから見ても発展した法だったので、それを学んで、役に立てようとしたのです。

②直前

動作や変化が始まったり終わったりする「直前・寸前」という意味を表します。

例) 出かけようとしたところに、電話がかかってきた。

文7「仕事をさせました」

使役の形には下の二つの意味があります。

①使役文では、上（より強い立場）の者から、下（より弱い立場）の者に何かをさせる場合に使われます。

- ・両親は妹を留学させました。
- ・両親は妹に留学させました。

上の例のように、自動詞の使役には、「妹を」というときと「妹に」という場合があります。「を」使役文は、妹の意志に関わりなく強制する場合、「に」使役文は、妹の希望を許すという意味を表します。また他動詞の使役の場合、「に」だけを使います。

②「泣かせます」「喜ばせます」など。人の感情を表す自動詞の使役では、上下の関係は必要ありません。

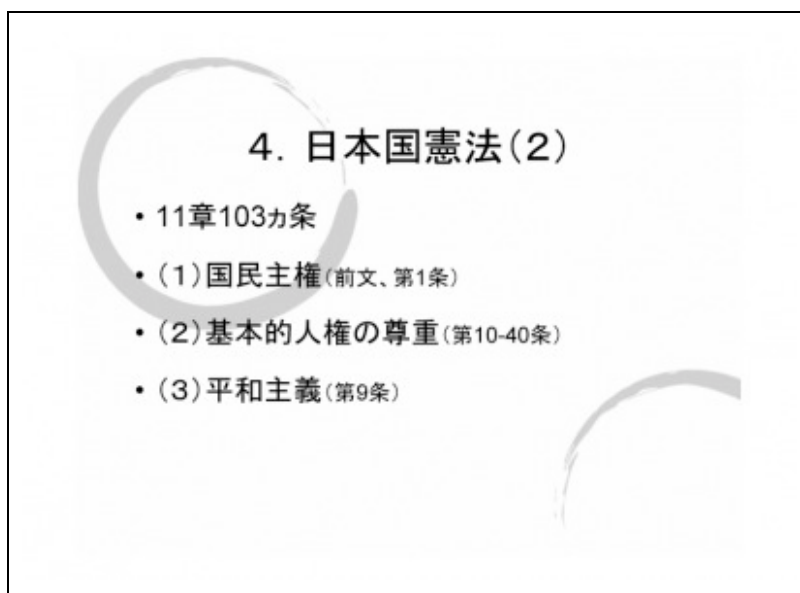
講義では次のように使われています。

- ・GHQは日本の政府に、憲法を改正する仕事をさせました。
- ・日本政府とGHQが話し合って、新しい案をつくることになりました。そして、その案を国会に渡して、国会の議員たちに話し合わせました。
- ・最初はフランスの法を、続いてドイツの法を継受しようとしたのですが、どうやって継受したのか、と言いますと、1つには、学生をドイツやフランス、イギリスなどに行かせて、法律を学ばせました。
- ・実際には、自分たちで決めるわけではありません。代表者、国会の議員を選んで、その議員たちに決めさせます。

☞「講義に役立つ日本語」

にほんこくけんぽう 4. 日本国憲法 (2)

にほんこくけんぽう ないよう 日本国憲法の内容



- | | |
|---|--|
| <p>1. では、日本国憲法は、どんな憲法なのでしょう。日本国憲法には、11章103カ条の条文があります。</p> <p>2. 日本国憲法についても、一つひとつの条文について説明する時間はありませんから、特に重要なことだけをお話しします。それは、日本国憲法は、明治憲法とは違って、「国民主権」、「基本的人権の尊重」、「平和主義」、という3つのルールを取り入れた、ということです。</p> <p>3. まず、「国民主権」についてお話しします。明治憲法は「天皇主権」でしたが、日本国憲法は「国民主権」です。</p> <p>4. 日本国憲法の前文には、「主権が国民に存する」と書いてあります。</p> | <p>1. The Japanese Constitution has 11 chapters and 103 provisions.</p> <p>2. As with the Meiji Constitution, I will focus on only the significant issues, which are popular sovereignty, respect for basic human rights and pacifism.</p> <p>3. Popular sovereignty is the reflection of sovereignty of the Emperor in the Meiji Constitution.</p> <p>4. The preamble of the Japanese Constitution states that sovereignty resides with the people, meaning that the people can decide the important matters of the nation.</p> |
|---|--|

5. つまり、「国民が主権を持っている」、大事なことは国民が決める、という意味です。明治憲法には、天皇が大事なことを決め、と書いてありましたが、日本国憲法では、天皇は、「日本国及び日本国民統合の象徴」、つまりシンボル (symbol) になりました。シンボルですから、実際の力は持っていません。天皇は、大事なことを決める力を持っていないのです。
6. これは、1930年頃に、軍隊が、天皇の力を利用して、政府の言うことを聞かなくなてしまった、ということを反省して、そうしました。天皇については、日本国憲法の第1章、第1条から第8条に書いてあります。
7. では、国民は、どうやって大事なことを決めるのでしょうか。
8. 実際には、自分たちで決めるわけではありません。代表者、国会の議員を選んで、その議員たちに決めさせます。
9. 明治憲法のときも、国会はありました。その頃の国会には、「衆議院」という院と、「貴族院」という院の、2つの院があったのですが、人々は、衆議院の議員しか選ぶことはできませんでした。国民が選んだ衆議院の議員が法律をつくらうとしても、貴族院が反対して、法律がつかれないこともありました。
10. 日本国憲法では、貴族院は廃止され、「参議院」という院がつけられました。
11. 衆議院も参議院も、国民が議員を選ぶことができます。ですので、国民は、国会議員全員を選ぶことができるようになったのです。
5. Thus, the position of the Emperor was changed from the empowered person in the Meiji Constitution to a symbol; the Emperor no longer has power to decide everything.
6. The provisions in the current Constitution which reflect the historical issues where the military utilized the power of the Emperor and did not follow the orders of the government are Articles 1 to 8 in Chapter 1.
7. So, how does the nation of Japan decide its important matters?
8. The people of Japan choose the representatives and members of the National Assembly and confer on them the authority to decide the important issues.
9. In the Meiji Constitution, the people were only allowed to choose the members of the House of Representatives and could not be involved in the selection of members of the House of Lords.
10. When the Meiji Constitution was amended, the House of Lords was abolished and the House of Councilors was established.
11. The people could then choose the members for both Houses.

12. 国会については、日本国憲法の第4章、第41条から第64条までに書いてあります。 12. Articles 41 to 64 of Chapter 4 of the Japanese Constitution stipulate this.
13. それから、「権力を分ける」ということについて、簡単に説明しておきましょう。 13. I would like now to briefly explain about the separation of power.
14. 明治憲法では、権力は分けられていたましたが、お互いにチェックする、という考えは、あまりありませんでした。 14. In the Meiji Constitution, even though power was separated, there was no strong ideology for actors to keep check on each other.
15. 日本国憲法は、国会が法律をつくり、内閣が法律に基づいて国民にサービスを提供し、何か問題が起こったときには裁判所が「どちらが正しい」とか「刑罰を科すべきだ」とか判断をする、というように権力を分けています。そして、お互いにチェックさせるようにしています。 15. The Japanese Constitution defines separation of power as follows. The Diet drafts the laws, the Prime Ministry provides services in accordance with these laws and the judicial system adjudicates when some problems occur, and the three organizations keep check on each other. [
16. もし、どこかの機関が人々の権利を守らなければ、他の機関が「ダメですよ」と言えるようにしたのです。 16. If one of them acts illegally, the Japanese Constitution suggests the others to appeal.
17. これは、明治憲法とは大きく違う点です。 17. This is the major difference from the Meiji Constitution.
18. 次に、「基本的人権の尊重」についてお話しします。「人権」とは、「人の権利」です。「尊重」というのは、「大事にする」ということです。つまり、「基本的人権の尊重」とは、「人々の権利を大事にする」という意味です。 18. The second significant issue of the Japanese Constitution is respect for basic human rights, meaning protection of human rights.
19. 基本的人権については、日本国憲法の第3章、第10条から第40条に書いてあります。 19. Articles 10 to 40 of Chapter 3 contain the most detail.
20. 明治憲法で問題になった、「法律の留保」については、どうでしょうか。 20. So, what about the main problem of the Meiji Constitution, "horitsu-no-ryuho" (a reservation of law)?
21. 日本国憲法には、「法律の留保」はありません。ですから、憲法に書いてある権利を、法律で「守らなくてもいいですよ」決めてしまうことは、今はできません。 21. The Japanese Constitution does not have it, so we must follow the Japanese Constitution without exception.
22. 最後に、「平和主義」についてお話ししま 22. Lastly, pacifism was introduced as a reflection

す。

23. 日本が、世界のいろいろな国と戦争をして、負けたことは、先ほどお話ししました。戦争のときは、日本人もたくさん死にましたが、外国人もたくさん殺しました。そのことを反省して、日本国憲法は、「平和主義」を取り入れることを決めました。
24. 日本国憲法の第9条第1項には、「国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する」と書いてあります。
25. 簡単に言うと、国と国との問題、争いを解決するために、戦争をしたり、軍隊を使ったりすることは、しない、という意味です。「戦争の放棄」とも言います。
26. それから、同じ第9条の第2項には、「前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない」と書いてあります。
27. 簡単に言うと、「軍隊は持たないし、戦争をする権利も持たない」という意味です。
28. こういうと、日本にも軍隊はいるではないか、憲法と違うではないか、と思う人もいるでしょう。
29. 確かに、日本には、セルフ・ディフェンス・フォース (Self Defense Force)、日本語では「自衛隊」と言いますが、自衛隊があります。
30. 自衛隊では、約25万人の人が働いています。飛行機も、船も、タンク (tank) も持っています。
31. この自衛隊は、軍隊ではないのでしょうか。
32. これは、日本でもずっと議論されている
- of Japan's wartime history.
23. Many people, both Japanese and foreigners, died in the war.
24. Article 9, Paragraph 1 of the Japanese Constitution stipulates that "the Japanese people forever renounce war as a sovereign right of the nation and the threat or use of force as means of settling international disputes."
25. It implies that Japan will neither enter into war nor use force to solve problems between countries. We call it the renunciation of war.
26. Paragraph 2 of the same article states, "To accomplish the aim of the preceding paragraph, land, sea, and air forces, as well as other war potential, will never be maintained. The right of belligerency of the state will not be recognized."
27. This means that Japan will not own a military or have the right to enter into war.
28. Some people might think that Japan does not follow this article since it has a military.
29. It is true that Japan has the Self-Defense Force (SDF), called "Jieitai" in Japanese.
30. At present, 250,000 people working for the SDF and it has air planes, ships and tanks.
31. Is the SDF not then defined as a military force?
32. This is a much debated issue that Japan will

問題です。

continue to discuss for a long time.

キーワード

- | | | | |
|-------|-----|--------|------|
| ・条文 | ・人権 | ・基本的人権 | ・尊重 |
| ・平和主義 | ・前文 | ・衆議院 | ・貴族院 |
| ・参議院 | ・内閣 | ・戦争の放棄 | ・自衛隊 |

日本語解説

文2「～主義」

「～主義」は考え方、～ism という意味を表します。講義の中でも「民主主義」「非民主主義」「平和主義」「全体主義」「権威主義」などの言葉が出てきます。その他にも次のようなことばがあります。

例) 社会主義 ・ 共産主義 ・ 資本主義 ・ 地域主義 ・ 帝国主義

文2「取り入れる」

「～入れる」という言葉は動詞に接続して「外から内側に入れる」という意味を表します。

例) 研究生を受け入れる = 受け付けて入学させる。

例) 履歴書に書き入れる = 履歴書の中を書く。

例) 聞き入れる = 聞いて理解する。納得する

文3「まず」 文18「次に」 文22「最後に」

「第一に」、「第二に」、「第三に」…「最後に」と同じように、「まず」「次に」という表現もいくつかのポイントを整理して説明するときに使います。この講義では、次のように使っています。

日本国憲法は、「国民主権」、「基本的人権の尊重」、「平和主義」、という3つのルールを取り入れた、ということです。

まず、「国民主権」についてお話しします。……。次に、「基本的人権の尊重」についてお話しします。……。最後に、「平和主義」についてお話しします。

☞ 「講義に役立つ日本語」

文15「～基づいて」

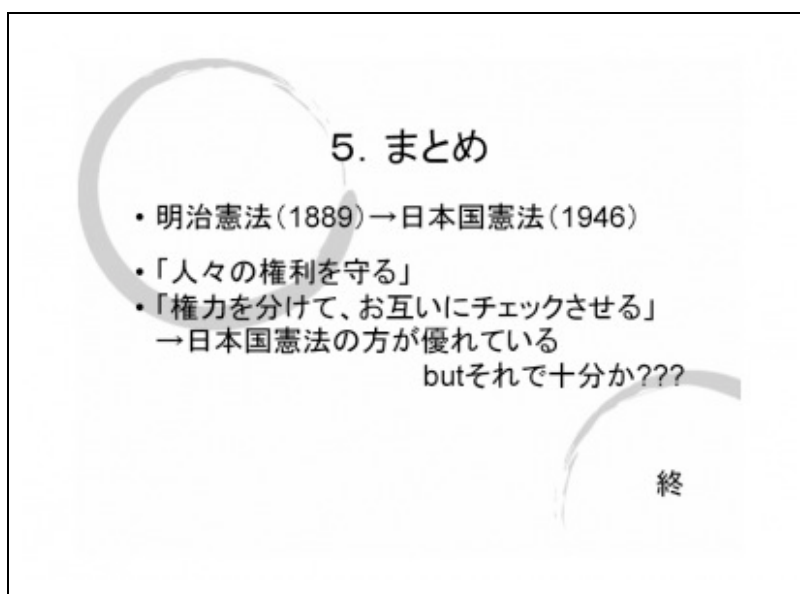
「～に基づいて」は「それをもとにして」「それを根拠にして」の意味を表します。「このドラマは事実に基づいています。」のように述語として用いることもできます。また、名詞を修飾するときには、「事実に基づいたドラマ。」のように「～にもとづいたN／～にもとづくN／～にもとづいてのN」と

なります。この講義では、次のように使っています。

- ・日本国憲法は、国会が法律をつくり、内閣が法律に基づいて国民にサービスを提供します。
- ・行政は、法に基づいて国民にサービスを提供します。
- ・国連はあくまでも有志で結集した国々の自由意志に基づく連合体であり、決して世界全体を統治することを認められるだけの正統性を持つ「世界政府」ではないのです。
- ・国内政治の場合、かなり高度なレベルで「法の支配」の原則に基づく秩序を構築することは可能であり、その原則の下での合法的な政治権力闘争が繰り返し広がられます。

☞「講義に役立つ日本語」

5. まとめ



- | | |
|--|--|
| <p>1. 今日の講義では、日本の憲法の歴史についてお話をしました。日本の近代憲法の歴史は、1889年の明治憲法から始まりました。そして、1946年に、日本国憲法をつくりました。日本国憲法は、「人々の権利を守る」という点や、「権力を分けて、お互いにチェックさせる」という点では、明治憲法よりも優れている、と言えます。</p> <p>2. ですが、今日は話すことはできませんでした。が、それでも、問題はいろいろある、と考えられています。では、今日の講義は、これで終わります。</p> | <p>1. Today, I talked about Japanese constitutional history. The history of the Japanese modern Constitution began with the Meiji Constitution enacted in 1889. In 1946, Japan established the Japanese Constitution. The Japanese Constitution is superior to the Meiji Constitution with regard to the aspect of introducing monitoring functions.</p> <p>2. Yet, it has been said that there are still many problems with the Japanese Constitution, but we will finish here for today.</p> |
|--|--|

日本語解説

文1 「今日の講義では、日本の憲法の歴史についてお話をしました。」

「今日の講義では～についてお話をしました。」は、講義の最後にもう一度、その日のテーマ、話題を要約する表現です。この表現を聞いて、講義の内容の理解を確認してください。